

日本クリスチャン・アシュラム連盟
Founded by Eli Stanley Jones

夏季号



日本アシュラム

SUMMER 1989 United Christian Ashrams of Japan 67

開 心・静 聴・充 満・献 身・奉 仕

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生れたファミリーの全国的な交わりであって。常に新しい地区(単位)の参加を期待している。

アシュラムとの出会い

関西アシュラム代表理事

古 川 治



「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。」
(第一テサロニケ5・16、18)

昭和三十二年(一九五七年)三月、広島女学院大学を会場としたスタンレー・ジョーンズ博士のクリスチャン・アシュラムに始めて参加した。三泊四日の会期を終り、解散するに当たって、会場を提供された広島女学院が参加者一同の為に午餐会をされた。その席上で或る人がスタンレー先生に「大変お元気ですが、お年は幾つですか」と尋ねた。先生はさすが「七十三才です」と答えられた。質問者は続けて「そのお年になられると、足腰が痛いとか、年をとってつまらないとか、お感じになられる様な事は有りませんか」と問うた。するとスタンレー先生は次の様に答えられた。

「私は二十代の頃から神様の御用に召されたが、神様は私の若いエネルギーを十二分に活かしてお用い下さった。三十代では、より良く考え

て積極的に前進する智力と気力を増し加えて下さった。四十代では、神様は更に思慮分別の賜物を増し加えて下さって、より重要な働きへとお用い下さった。五十代では更に熟練の賜物で満ち溢れさせて下さった。六十代では更に世界伝道への幻を賜わり、戦後の霊的復興の為に東奔西走させて頂いている。七十三才の今、神様に祈り求めている事は、もう十年寿命を延ばして下さいと言う事である。それは、未だ福音が伝えられていない地域に、地の果てにあるうがどんな所であろうが、門戸が開かれて、御臨在の主を証しさせて頂きたいからである。」

先生のお答えのどこにも、年をとってつまらぬとか、困ったとか、淋しいとか言う様なものは何もなかった。若かるうが、年寄りとなるうが、感謝ばかりで満ち溢れていた。私はそこにクリスチャン・アシュラムとは何かを強く教えられたのである。それから二年おきにスタンレー先生によるアシュラムが日本の各地で行われて来たが、昭和四十年頃を最後にして、あとは日本人自身によってアシュラムが行われる様になると言われて来た。昭和四十六年に再び日本においてになって先生によるアシュラムが再開された。私が始めて参加した昭和三十三年の広島におけるアシュラムで先生は七十三才と言われた。そして神様によって、もう十年寿命を延ばして頂いて主の御用の為に働きたいとおっしゃっておられたが、神様は十年よりも更に四年増し加えて再び日本にてアシュラムをされた。

八十七才であられた。さすがに肉体は弱っておられ、食事も補助者なしでは困難な状態でした。その時には名通訳者の安村三郎牧師も天上の人となっておられ、別人の通訳者であった。しかしアシュラムにおける先生のお姿は以前と変わる事なく、一同に深い感銘を与えられた。それが日本における最後となられた。その二年后、アシュラム発祥の地、インドのサットタルにおける国際アシュラムで、車椅子に乗って聖書のときあかしの御用に当っておられる最中に天に召されたと聞いている。八十九才であられた。

神様は先生の祈りを聞かれ、十年どころか、十六年も寿命を延ばして下さって、霊的指導の為に尊くお用いになったのである。

理事 海老沢宣道
編集人 淵江淳一
発行人 大石嗣郎
定価 一部60円 千60円

△アシユラムの守り方▽ (一) 誰が、いつ始めたのか

海老沢 宣道

アシユラムという名の集会や団体が世界各地で守られるようになりましたが、私共の「クリスチャン・アシユラム」はそれらと大切な点で違いがありますから、その内容をよく知る必要があります。

アシユラムという言葉はインドのサンスクリット語の「労働(シユラム)から(ア)」離れて自然の森や山の中に退いて有力な教師(グル)の指導を受け、修養すること、いわば「退修生活」に相当します。この名称だけでは別にキリスト教的意味はありません。インドの伝道に六十年を献身した故スタンレー・ジョーンズ博士が、ガンジーやタゴールとの交際を通して、その方法の一部を採用し、全くキリスト教的な退修方式を創設したので、「クリスチャン・アシユラム」と命名したのです。

彼はこの方式の中に、人々を新生経験に導き、行詰っている教会と低迷しているキリスト教と気概のない信者たちを強化する道があることを見ました。

彼は主イエスを中央に置き、それを多くの国々に伝えました。その結果、多くの人々が心から「イエスは主である」と言うことを学びました。

『イエスは主である』

スタンレー兄弟は今や完全に「キリストの中に」おられ、絶対的に豊かな生活を経験しておられます。もはや直接私たちを導くことはできませんが、いくつかの指導原理を残して下さったことを神に感謝したいと思います。私たちはそれによってアシユラムを守り続けることができずし、その原則と実際の指針に従う限り、これがそが真の道への一つの道となるのであります。

『始められた仕事は死によって中止されるものではない。』

われらもまたその義務を継承するからである』

(ブラウニングの詩より)
アシユラムは聖霊の侵入を受けるか否かにかかっています。従ってこれには自由の雰囲気が必要ならばなりません。然しながら物事を「秩序正しく」進めるためには、相当の組織を持たねばなりません。そのために必要な手順を、各地区、各教会の指導者(委員)たちに諒解して頂きたいと思えます。

世界最初のアシユラムは、スタンレーが一九三〇年にヒマラヤ山麓のサトタルで、英国婦人宣教師とインド人教師との三名で静聴と祈りの時を持った時で、四〇年に北米で、更に五五年に日本で始められました。従って明年(一九九〇)は世界的には60年を、北米では50年を、わが日本では35年の記念集会を開催することになっています。(以下次号)

世界アシユラム60周年記念 ▼来年六月・カナダで開催▼

一九九〇年はスタンレー博士がインドのサトタル村で、アシユラムを創始してから、満60年を迎えるので第八回国際アシユラムはその記念大会として、カナダの東海岸ノバ・スコチアのハリファクス市で開催することになった。国際アシユラム連盟からの通信によると、総事はアラン・バーンズ師(オンタリオのウインザー聖三一合同教会牧師、米国北西地区委員長、連盟理事)が奉仕され、『福音の時』の基調説教者は、サムエル・カメルソン博士(インドの世界的伝道者、ワールド・ビジョンの理事)であり、『聖書の時』はエブリン・レイコック博士(米國ハイワシー大学の霊的な聖書教授)である。マッシュウズ、バーク・ハンターの講師も奉仕される筈で、作詩コンテストや歴史劇など多彩なプログラムが用意されるという。

会場はハリファクス市の聖ビンセント大学の校舎と寮が提供されることになった。六月13日から五日間にわたって美しいカナダの風景の中で世界各地からの同信の友と共に集まり、主イエスのみもとに開心して、静聴と分かち合い、御霊の充満を体験する幸いに日本からも一人でも多くの参加者が出ることを期待している。

日本アシユラム35周年記念 来年九月・箱根芦の湖畔で

一九九〇年はまたスタンレー博士がわが国に於て、最初のアシユラムを開かれた一九五五年から、満35年に当るので、去る三月開催の全国理事会で協議の結果(66号既報)、加盟各委員会合同の下に、記念の全日本アシユラムを左記の如く開催することになった。

日時・九〇年九月23日ー25日
会場・箱根アカデミー・ハウス
(神奈川県芦の湖畔)

特別助言者・D・P・タイタス師
(インド・サトタル主管者)

タイタス師は七八年秋、第三回国際アシユラムを東山荘で開いた時と八〇年日本アシユラム満25年記念の時にゲスト説教者として来日、今回が三度目の来訪となる。連盟から植村俊雄訳で「御国を来らせ給え」と題する貴重な文書を出版されている。参加される前にぜひ御読み願いたい。

サトタル・アシユラム指導者
D・P・タイタス著
植村 俊雄 訳

「御国を来らせ給え」
神の国に就ての研究
A 6判40頁定価二百円 70円

アシユラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し
(二) 御言への静聴と立証

好評・再版出来
海老沢宣道著
「アシユラムの原則と実際」
新書判52頁 価三百円 70円

初めて関西アシュラムに

参加して

桜井ルーテル教会

吉田 暢

牧師は祈りを本業とすべし、と言われませんが、本業をおろそかにし、お粗末な祈りの生活に、これではいけない。何とかしなければという思いが募っていました。

祈りこそ本業と自覚して、長男を「祈」と命名し、早天祈禱会を開始し、定例の水曜日の祈禱会も三回にふやし、祈りの充実に努めてきました。牧師は集会や会合ごとに祈禱します。牧師は忙しければなるほど幸いにも祈禱の回数はふえます。これも牧師の特権です。それと同時に、牧師の霊的活力は、密室を守り長時間主と交わることから、多忙になればなるほど密室の祈りが必要となります。若さに頼って多忙な教会生活をこなしていましたが、次第に疲れを覚え、これではいけないという思いが募っていた時、関西アシュラムのお誘いをいただきました。

アシュラムについては、噂でお聞きしていたぐらいで、その内容については全く知識の乏しい者でした。ただ、徹夜の連鎖祈禱があるというので、しばらく教会を離れ祈りに打ち込もうと思って参加しました。期間中もたれた「朝の祈り」は言うまでもありませんが、三回の「ファミリーアワー」もその大半が祈りでした。

た。夜中の連鎖祈禱を申し込み、主のみ前にすべてを明け渡しして祈りました。15分か20分後だと思いましたが、主との深い交わりに入れられ、主を喜ぶ思いに満たされました。新しいビジョンも与えられ、霊的な力の甦えるのを覚えました。

関西アシュラムは回を重ねて第22回をむかえています。日本の教会に必要なのはこれだという使命を主から与えられた教職と信徒の方々が、主を愛し、教会を愛するがゆえに、関西アシュラムをここまで守り、育ててこられたのだと思います。その恵みの一端に浴した者として、今年も参加し、教会に託されている使命の一端を担ってゆきたいと思っています。

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作
忽ち世界各国でベストセラーになった

インド途上のキリスト

金井為一郎元訳 湧江淳一新訳
美装幀 B6判 250頁 価1900円 千250円

若く30才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

第二回バルナバ、

アシュラム報告

世話人 石神 勇

- (三) 教会への奉仕と伝道
- (四) 教会への奉仕と伝道
- (五) 神の国の体験と献身

第二回バルナバ、アシュラムは去る五月三日から五日までの三連休に東京、奥多摩の福音の家で定員50名を集めて開催された。開会一ヶ月前に申込を締切ったのであるが、四月末48名となり、名簿を作成して臨んだ処開会当日になって2名の参加申込みがあり、定数50は満たされた。その内4割の20名はアシュラム始めの方、前回バルナバ参加者17名、関東アシュラム経験者7名その他であった。この種の催は女子が多いのであるが、男26女子24であった。一ヶ月前に締切りと共に参加者による連鎖祈禱表を作り、事前の聖書の静聴が必要なので一ヶ月分の準備テキストとしてヨハネ書やロマ書を一日一章静聴を実行していただき、参加して頂くこととした。アシュラム当日午後10時から翌朝6時までの連鎖祈禱も事前に、はがきで回答して頂き、一表を作って当日のプログラムに綴り込んだ。

祈りの細胞は6組に分け、助言者と経験者を座長とし90分の会を2回開いた。第二日と第三日に朝食抜きとし朝の静まることとした。

特に時間を定めて「個人相互インタビュー」の時を催し、静かな相互語り合いをしたが好評であった。顔を

「アシュラムの群」愛読者募集 (会費不要)

アシュラム参加者の学習研究誌
アシュラム集会の紹介及び奨め
聖書の御ことばの聴従記事・有志の投稿記事

発行所 394長野県岡谷市長地小萩 石神 勇あて
(月/回発行 ご希望の方には無料にて郵送します)

合せてもじっくり語り合う時のないのを考えての事であった。もちろん信仰的語らいであったが、得る処があったようである。

福音の時は二回とも東京聖書学校の横山義孝師にお願いした。確信に基づき熱意あるお話に参加者は大いに恵まれた。

今回初めての試みとして教職者数名を招待したが、今後も続けたいと願っている。若い教職者にアシュラムを経験して頂くことが、今後の課題と信じての事であった。

その他詳しい事は「アシュラムの群」第30号(5月16日号)に載っている。

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシュラムの五大原則と守り方を平易に解説。

**世界アシユラム60周年記念
第八回国際アシユラム
来年六月・カナダで開催**

一九九〇年はスタンレーがインドでクリスチャン・アシユラムを創始してより満60年を迎えるので、第八回国際アシユラムは、その記念大会として、六月13-17日にカナダのハリファックス市で開くことになり、ゴルドン・ハンター師から招待状が来た。今日までエルサレム、インド、日本、北欧、米国、韓国などを廻ったが、次回にもわが連盟は多数の同志と共に参加したいと考え、近日詳しい案内文を作製する予定。今から心積りを立てられるようお願いする次第である。

▼またこの年は日本アシユラムが、守られるようになってから満35年に当るので、加盟地区の合同の下に、記念の全国アシユラムを左の如く開くことにした。

—全日本アシユラム—

日時・一九九〇年九月23-25日
会場・箱根アカデミー・ハウス
(神奈川県芦ノ湖畔)
招待助言者・D・P・タイタス師
(インド・サトタル主事者)
各地区委員会にて今から祈りと御準備をお願い致します。

信友通信

○東京練馬区 角田 知恵子
海老沢先生、この度はバルナバアシユラムで御助言を頂き、本当に有難う存じました。私は三日間のアシユラムは初めてで、すごく緊張しました。帰宅してもう一度ノートを見ながら、開心の時からのみ言を何度も読み返し、御助言をかみしめ、全てを主に明渡した心の安さを頂き、「イエスは主である」と全き服従へのお恵みを味わわんと満して頂き、主の御導きを絶対に信じ、喜びと希望と平安を与えられました。この主イエス様との交わりを何としても維持できる力を与え給えと祈っています。今後は子供達も神の家族に入れて頂きたく祈り、求めて参ります。何も彼も感謝です。(ヘブル書12章28)今後共この至らぬはした女のため、お祈りの端にお加え下されば幸いに存じます。平安。

○米国加州 若林 節子
「イエスは主なり」こちらに参りまして漸やく生活にリズムができて、毎日快適に過しています。聖日はオクラランドのメソジスト教会に出席しています。大学の聖書科の先生はインド出身でヒンズー教からクリスチャンになった人で、スタンレー博士の事を良く知っておられ、意義深い話合いができました。日本のアシユラムのため遥かにお祈りいたします。御名をさんびしつつ御礼まで。

◎各地集会予告

- 第27回関東アシユラム
九月13日(水) 15日(金)
所・奥多摩古里・福音の家
助言者・委員長 向山自助師
申込先・小白川白山教会 新原迪師
- 第23回関西アシユラム
九月15日(金) 16日(土)
所・関学千刈キャンプ場
主題・キリストへの明け渡し
助言者・土山牧羔師
申込先・香榎園教会 古河 治師
- 四国アシユラム
九月22日(金) 23日(土・祭)
所・松山済美会館 助言者土山牧羔師
申込先 松山山越教会 河野 修師
- 九州アシユラム
所・西南女学院研修場
助言者・金田・鍋倉・川野各師
申込先・北九州市山本繁夫師

○東京中野区 山口 啓子
主の栄光を賛美します。先日はアシユラムで主の恵みを受け感謝でした。先生が益々お元気御用のためにお働きになり、すばらしい限りだと思えました。都会を離れ、日常生活を忘れ、深く自分の魂を主の霊でさぐり今一度直視しました。そして主が私の成長を忍耐深く待っていて下さるのが判ります。またニードをノートに書くことも学びました。先生のお誘いにとっても感謝しています。またお目にかかりたいです。お元気でお過ごし下さるようによ。

東北アシユラム
10月10日(体育の日) 10時より
所・日基教団飯坂教会
申込先 福島教会声名直道師

◎献金報告

- 海老沢宣道 一〇,〇〇〇円
 - 玉木 功 一〇,〇〇〇円
 - 大石 嗣郎 一〇,〇〇〇円
 - 手島 恵子 一〇,〇〇〇円
 - 以上 四〇,〇〇〇円
- 一九八九年六月一日(大石)

スタンレージョンズの遺著
海老沢宣道訳
神の然り
価一、二〇〇円 二、二五〇円
主に一切を委ねた人生の証し

アシユラム生活の最良の友
アパ・ルーム
(年6回刊行の日々の糧)
国際的、超教派的、霊的な読物
価200円 70円、年1,620円
発行所 (256) 小田原市国府津3-11
発替座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム
振口
日本語版は創刊以来36年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10
日本クリスチャン・アシユラム連盟

新しい折衝生活運動である。

取り入れて創始されたキリス